
沖縄等米軍基地問題議員懇談会

「稲嶺進名護市長からの報告」



琉球新報ウェブサイトより

1月19日の名護市長選挙で、辺野古新基地建設の公有水面埋め立てなどの反対を掲げた、稲嶺進さんが圧倒的大差で再選を果たしました。この民意を踏みつけ、安倍政権と自民党は、名護市は市長権限で国の安全保障政策を妨害している、と稲嶺市長の姿勢を誹謗し、名護市政を孤立させようとしています。今回、国会において、超党派の議員で構成する沖縄等米軍基地問題議員懇談会(会長・近藤昭一衆議院議員)が、勉強会の形式で、2月13日、稲嶺進名護市長を招くこととなりました。積極的なご参加をお願いいたします。

日時：2月13日（木）18：00～

場所：参議院議員会館 1階講堂

※17：30頃より参議院議員会館玄関で入館証を配布します。

内容：市政報告（稲嶺名護市長）

市長権限に対する政府の動向解説

主催：沖縄等米軍基地問題議員懇談会

後援：フォーラム平和・人権・環境（03-5289-8222）